

月刊

ボラナビ

2010 年

12 No.148
月号

無料

ご自由にお持ち帰りください

N P O な 人

OB・OGコラム

コロポックルさつぼろ代表理事 中野匡子さん
泣いた！ 笑った！ バヌアツの人々と…

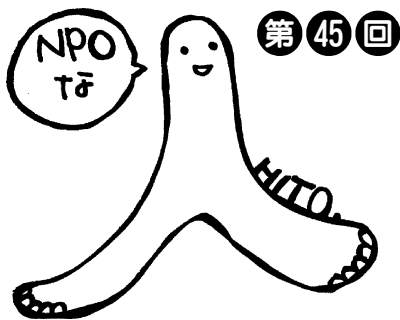


今月の表紙イラスト

プロとしてご活躍で札幌市在住の
すずきももさんにご提供いただきました。

表紙のイラスト
募集中

北海道の NPO 法人認証数
1,615 法人
(2010 年 9 月末現在)



.....

NPO 活動をしている人をどのくらいご存じですか？
 どんな人が、どのような経緯で始めたり、関わるようになったのでしょうか。
 北海道の多くの市民活動家の中から、まさに「NPO な人」として紹介したい方に、これまでのエピソードを教えてくださいました。

.....

財団法人北海道地域活動振興協会助成



著者 NPO 法人コロボックルさっぽろ代表理事 中野 匡子（なかの まさこ）

1939 年帯広生まれ。父親の仕事で、札幌を含む道内各地を転居して過ごす。30 代は主に東京で暮らし、帰札後の 1982 年には「生活クラブ生活協同組合・北海道」の設立に関わった。NPO 法人コロボックルさっぽろの他、脳外傷友の会コロボックル(家族会)、小規模作業所コロボックル、コロボックルレディースなどを開設し、運営に携わる。家族は、夫、娘、息子と孫 3 人。

息子の事故をきっかけに

1997 年、横須賀市で暮らしていた息子は水産関係の仕事に就き、外国に出張したこともある、ごく普通の自立した青年でした。親分肌で友人が多く、親姉妹にも面倒見のいい子でした。ところがある日、交通事故に遭い、息子の人格はすっかり変わってしまいました。バスを待つ間、イライラして吸殻入れを蹴飛ばしたり、私が読んでいる本を取り上げてゴミ箱に投げつけたりしました。私は、息子がどうなってしまったのかわからなくて怖くなりました。

手術後は、車いすか寝たきりの生活になることがほとんどであった当時、息子は口も手足も動くようになったので、手術は大成功…のはずでした。息子が怒りっぽくなったことについては、医者に「キレル子は、その辺にたくさんいるでしょう」と片づけられた時代で、交通事故や脳の病気、スポーツ・転落などによる脳の損傷の後遺症が、高次脳機能障害とはまだ言われていませんでした。

翌年、日本で初めて神奈川県で「脳外傷交流シンポジウム」が開かれました。北海道から出席したのは私だけでした。当事者の家族たちの体験を聞き、「脳外傷の後遺症」の凄まじさを知りました。いずれ息子を連れ帰る札幌にも家族会を立ち上げなければ、と感じました。

その後、私は札幌で息子と向き合い、闘いながら、心と脳のリハビリをしてもらえる病院を電話帳で一軒一軒調べたり、友人が紹介してくれた先を訪ねたり、公的機関に問い合わせたりしました。でも、息子に合うところはありませんでした。高次脳機能障害という言葉が、札幌ではまだ理解されていませんでした。

たまたま、高校の同期会の打ち合わせで、同じように交通事故にあった息子さんをかかえた篠原節さん（現 NPO 法人コロボックルさっぽろ副代表）と出会いました。いろいろ話したことで、同じ状況にある他の家族はどんな生活をしているのか気になり、「北海道にも神奈川のようなリハビリセンターがほしい」と改めて感じるようになりました。



事務局の様子

新しく生まれ変わった命が輝くように

公的機関も病院も頼りにならないのなら私たちでやるしかない」と決意し、マスコミを通じて、当事者や家族が顔を合わせられる場への参加を呼び掛けました。そうして出会えた家族には、当事者と何年間も暮らす中で耐えてきた精神的、経済的苦労を涙ながらに語る方たちが多く、開催する度に参加者は増えていきました。そこで、まずは安心して定期的に集える場を作らねばと考え、1999年2月に家族会を設立しました。

昼夜が逆転している当事者を何とか社会に適応させる必要に迫られ、翌月には小規模作業所を開設しました。これがなんと、日本では初めての高次脳機能障害者を対象とした作業所となりました。国立リハビリテーションセンター（埼玉県）から「何か資料はありませんか」と問い合わせを受けた時には仰天しました。同年6月には、神奈川県や名古屋市のリハビリテーションセンターの専門家や家族の方々と、北海道からは私と篠原さんの2人が参加して、アメリカの3つの州を8日間かけて視察することになりました。会を設立して間もない時期で、毎日、作業所ではトラブルがおき、相談電話への対応にも慣れていない中で、視察先の資料を読んだのは飛行機に飛び乗ってからとなりました。視察先のひとつ、バージニア州にあるリッチモンド病院傘下のクラブハウスは、部屋の雰囲気は「コロポックル」とちっとも変わらないのに、脳外傷に精通した医療関係者、臨床心理士、認知リハビリの専門家、ケースワーカー、カウンセラー、レク療法士、ジョブコーチなどがサポートチームを組み、当事者のリハビリプログラムを作成して実施し、評価する流れができていました。また、1日の運営費は、なんと私たちの1年間の活動費に匹敵する額でした。帰国後、札幌でもこの様なことが実現できないかと私たちは医療機関や行政に働きかけてきました。日本でも高次脳機能障害者への支援の体制が少しずつできてきましたが、まだまだアメリカの10年前にさえ追いついていないのが現状です。

現在、コロポックルの家族会では、毎月第2金曜日に例会を開いている他、相談業務、講演会、会報発行などの活動を行っています。帯広、旭川、函館には支部もあり、それぞれの地域で高次脳機能障害の啓蒙活動や当事者のサポートをしています。さらに札幌市内では、男性が対象の「クラブハウスコロポックル」と、女性が対象の「コロポックルレディース」の二つの作業所を運営し、通所者は脳の回復に合わせて、石けんやお菓子作り、調理やゲームなど、ゆつくり、ゆったりしたプログラムで過ごしています。

「癒しの時を経て、新しく生まれ変わった命が輝いていくように」——そんな願いを込めて、彼らが作業所を足がかりに新しい人生の再スタートをきるお手伝いができれば、と考えています。



例会の様子

こんなボランティアを募集しています

通所者にとって少しでも脳の刺激になり、心がワクワク、楽しくなることがあったらいいと考え、当事者と向き合って話を聞いてくれる方、オセロや囲碁、トランプなどのお相手をしてくださる方、歌やギター、書道、絵手紙、英会話などの指導をしてくださる方などを募集しております。ご連絡ください。

■■ NPO 法人コロポックルさっほろ ■■■■

Eメール koropokkuru@mail.goo.ne.jp
札幌市豊平区月寒東1条17丁目5-39

TEL: 011-858-5600 FAX: 011-858-5696
ホームページ <http://www.f3.dion.ne.jp/~koropo/>

ボラナビカフェに参加しませんか？

ボラナビカフェは誰でも参加できるおしゃべりの場です。みんなが順に話し、いろいろな思いや話題を共有していきます。これまで以上に多くの方に参加していただくため、2011年3月までは毎月5回程度開催します。

12月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	⑥	7	8	9	10	⑪
12	13	14	15	16	17	⑱
19	⑳	21	22	23	24	㉔
26	27	28	29	30	31	

1月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	⑧
9	10	11	12	13	14	⑬
16	17	⑱	19	20	21	㉔
㉔/30	㉔/31	25	26	27	㉔	29

ゲストを囲んでお話ししましょう！

下記のカフェには、市民活動を実践している方々も参加される予定です。

12月のゲスト

20日(月) ○向日葵(ひまわり)食堂

藤原 哲郎さん… NPO 法人シニアマスターズネットワーク常務理事。元道庁特別労働相談員の経験をいかし、中高年を中心とした失業者の相談や就労・起業支援を行う。
小番 一弘さん…北海道男性介護者と支援者のつどい事務局長。在宅介護者の3割を占め、女性よりも孤立しやすいといわれる男性介護者に対する支援と情報発信を行う。

25日(土) ▽ボラナビ事務所 13:30~15:00

小林 董信さん… NPO 法人北海道 NPO サポートセンター事務局長。多くの NPO とネットワークを組み、様々なサポート事業を展開。札幌学院大学大学院客員教授。
高尾 晋さん…5年半の引きこもりの後、大学進学。現在は北海道新聞社(札幌)で記者として働きながら、不登校・引きこもりの自助グループ「あるがまま」を主宰する。

1月のゲスト

15日(土) ◇cafe 亜麻人(あまんと)

平井 照枝さん…母子家庭への情報提供・相互扶助の促進等を行う「しんぐるまざあず・ふおーむ北海道」代表。ファイナンシャルプランナー。親の介護を通して体験した介護制度の紹介も行う。
森 晴子さん…さくらヘルプ代表。身体障がいのある娘がいて、機能回復訓練を多くのボランティアのサポートを受けながら行っている。

18日(火) ○向日葵(ひまわり)食堂

加納 尚明さん…民間企業勤務と並行して、障がいの自立支援を行う NPO 法人札幌チャレンジ理事として市民活動を展開した経験を持つ。現在は札幌市市民活動協働推進担当課長。
本多 俊紀さん…主に精神障がい者などの就労支援などを行う NPO 法人コミュニティ衆創事務局長。便利屋稼業から、年間5千万円規模の組織運営までの経験を持つ。

28日(金) ○向日葵(ひまわり)食堂

村形 潤さん…コミュニティラジオ FMアップルのパーソナリティ。拡張型心筋症、腎不全などの障がいがある。多くの市民活動に所属し、活動した経験を持つ。
岡本 雅樹さん…障がい当事者が運営の中心を担い、自立支援や情報提供を行う自立生活センターさっぽろ事務局長。車いすを利用しながら、独り暮らしをしている。

- ◎ 場所／ボラナビ事務所(札幌市中央区北5条西6丁目2札通ビル7階) 参加費は300円です。月寒あんばん本舗ほんま様から提供していただくお菓子を食べながら、みんなで話しましょう。
- ◇ 場所／cafe 亜麻人(あまんと)(札幌市北区麻生町6丁目14-6 高橋ビル2階) 参加費無料。飲食物は出ませんが、250円で飲み物を注文できます。会場ビル裏手に有料駐車場(100円/時)あり。託児が必要な方も参加できます(保育士2人)。託児無料。お子様のお名前、性別、生年月、障がいの有無を教えてください。お子様のオムツや飲み物などは各自で用意ください。
- ▽ 場所／ボラナビ事務所(札幌市中央区北5条西6丁目2札通ビル7階) 参加費無料。みんなで話しましょう。
- 場所／向日葵(ひまわり)食堂(札幌市中央区北5条西6丁目2札通ビル6階) 参加費無料。飲食物は出ませんが、コーヒー200円を注文できます。
※ボラナビと食堂は「札幌駅」からすぐ、亜麻人は地下鉄南北線「麻生駅」とJR「新琴似駅」からすぐ。

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

8月28日(土)

初参加2人とリピーター1人で開催しました。この日は全員が女性でした。自己紹介の後、それぞれの話したいテーマをあげてもらったり、相手に対して聞きたいことを質問したり…。話題は、仕事や年金のことなどでした。「自分は弱視で精神障がいもあるので6時間程度しか働けない。そのためなかなか雇ってもらえない」という人に、「午前中だけ働くとか、職場で他の人と時間を調整してもらえるといいですね」という励ましの意見がありました。「自分は年金がいくらもらえるか役所に行って調べてみた。額が少なく、年金だけでは生活できないと感じた」という話や、生命保険、国民年金の話題もでした。

(村上智恵子)



10月19日(火)

初参加者1人を含む3人で開催しました。月に2回、ホームレスの人を支援する団体で夜回りをしている方は、「ご飯を食べているか、眠れているか、痛いところはないか、などと声をかけると、ホームレスの人から、『人と話すと安心できる』と言われる」そうです。路上生活を送っていることが見た目ですぐ分かる人は減っていることや、20代のホームレスが増えていることなども教えていただきました。このほか、各参加者からは、「これまではゲームばかりしていたが、時間が無駄になるので本を読むようにした」、「ひきこもりの自助グループに参加し、仲間がいると知ることができた」、「家族に振り回される日が続いたが、外で働くことで貴重な時間を持てている」といった発言が、出ていました。

(村上智恵子)



10月23日(土)

ボラナビスタッフ2人を含め、計4人でおしゃべりをしました。リピーターばかりだったので初めから明るく打ち解けつつ、人生観に踏み込んだ話題や、日頃は口にしないような家族の話になりました。けがで休職している方は、できた時間で経済ニュースを見るようになったそうです。そこから、「経済発展の功罪」や、「生産性を意識せず過ごすことへの憧れと難しさ」がテーマになりました。それぞれが暮らしの中で大切にしていることが、発言に表れているようでした。また、自分の親と楽しくおしゃべりするのは難しいという意見もありました。「同居しているが、顔を合わせないようにしている」「親は少し頑固なので…」「一緒にスポーツやゲームをして、難しい話にならないようにする」などの体験談がみんなから出て、苦笑いながら盛り上がりました。

(ボラナビ倶楽部代表 森田麻美子)



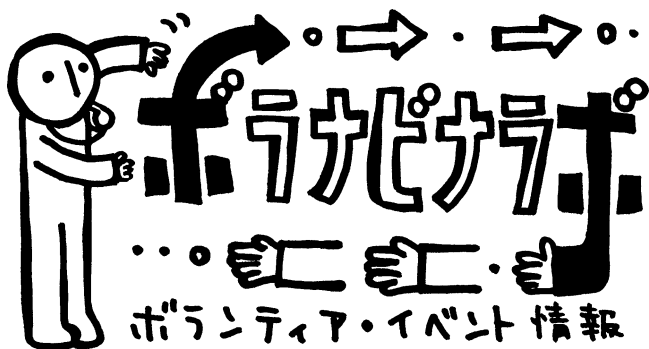
時間／10：00～11：30（12月25日(土) 開催のみ 13：30～15：00）

申込締切／各開催日の3日前。定員10人（最少催行人数4人）

お問合せ・お申込み／NPO 法人ボラナビ倶楽部 Eメール volunavi@npohokkaido.jp

TEL：011-242-2042 FAX：011-242-2043

スケジュールやこれまでのカフェの様子は、ホームページにも掲載しています。（「ボラナビカフェ」で検索）



情報をお待ちしています

ホームページの入稿フォームをご利用ください。

- ボラナビ <http://www.npohokkaido.jp/volunavi/>
- ※インターネット環境が無い方は、FAXや郵便でお送りください。

次回は12月20日締切で2月号掲載です。

掲載情報のご利用にあたり

- 情報の詳細は各団体にお問い合わせください。
- 活動で生じた問題につきましては、当事者間で解決を図られるようお願いいたします。また、万が一の事故やケガにそなえてボランティア保険への加入を推奨します。
- 思いやりをもって活動しましょう。

随時 外出介助ボランティア募集

こんにちは、札幌市西区で一人暮らしをしている清原史浩(28歳)といます。脳性まひで四肢に障がいがあり、車いすを利用しています。趣味は、映画を見たり、服を買いに行くことです。そこで、外出時に、食事や移動の介助をしてくれるボランティアを募集します。私は口では話せませんが、右足でトーキングエイド(会話や筆談が困難な人のための、音声のでる携帯意思伝達装置)を使って会話ができます。ボランティアの人たちと一緒にいろいろなところへ行き、楽しい生活を送りたいと思っています。介助経験や性別は問いません。詳細は、お問い合わせをいただいた時に説明します。



- 場所／札幌市西区
- 交通費／食事代上限 500 円、交通費上限 1,000 円までお支払いします。
- お問い合わせ／清原 Eメール kiyoppy571204@olive.plala.or.jp

随時 英語のできる、または海外旅行を予定しているボランティア募集

私たちは、発展途上国の障がい者に中古の車いすを届ける活動をしています。海外の送り先と、英語を使ったメールや電話でやりとりしてくださるボランティアを募集しています。年齢、性別は不問です。私たちの所では、すでに学生、主婦、退職者など、さまざまな方が活躍してくれていますのでお気軽にご連絡ください。また、海外に行く予定があり、その際に車いすを持っていける方からの連絡もお待ちしております。

- 日時／月・火・木・金曜日 14:00~17:00
- 場所／札幌市中央区北5条西6丁目 札幌ビル2階
- 交通機関／地下鉄南北線「さっぽろ駅」またはJR「札幌駅」〈南口〉より徒歩5分。
- お問い合わせ／NPO 法人「飛んでけ! 車いす」の会〈担当: クイン明美〉
Eメール tondeke@bz01.plala.or.jp TEL・FAX: 011-242-8171
携帯: 090-8909-0634 ホームページ <http://tondeke.org/>

北海道新聞をはじめとする、地域の新聞社が運営するショッピングサイト「よんななくらぶ」では、日本各地の逸品・特産品をお届けしています。

よんななくらぶ **検索**

登録無料 欲しい情報がお手元に

ボラナビ・アラート

活動したい地域・分野・時間帯を
選んで登録。ご希望にあった最新の
ボランティア・イベント情報をお届け!

携帯からも簡単登録→

<http://npohokkaido.jp/volunavi/modules/vsearch/index.php?controller=user>

NPO 法人コンカリーニョは、2つの劇場「生活支援型文化施設コンカリーニョ」と「ターミナルプラザことばトス」、さらに「あけぼのアート&コミュニティセンター」を運営し、演劇・ダンス・音楽をはじめ、さまざまなジャンルのアートイベントを企画・開催したり、映像・絵画・彫刻など幅広い分野の創作活動を応援しています。ボランティアスタッフ「Caritto (カリット)」として、運営を支えていただけませんか。各所の環境整備や事務、イベント当日サポートの他、個々のスキルに応じて、印刷物のデザインなどもお願いしています。ぜひお問い合わせください。

- 場所／①生活支援型文化施設コンカリーニョ（札幌市西区八軒1条西1丁目 ザ・タワープレイス1階）。②ターミナルプラザことばトス（札幌市西区琴似1条4丁目 地下鉄琴似駅地下2階）。③あけぼのアート&コミュニティセンター（札幌市中央区南11条西9丁目4-1）。
- 交通機関／①はJR「琴似駅」直結。②は地下鉄東西線「琴似駅」改札口すぐ目の前。③は地下鉄南北線「中島公園駅」より徒歩約10分、市電「中島公園通駅」より西へ徒歩約5分、「西線11条駅」より東へ徒歩約7分、じょうてつバス「南11条西11丁目停留所」より徒歩約2分。
- 日時／たいてい、平日夕方以降または土曜日の日中に①～③が個別に活動しています。全体のカリットミーティングは、毎月第4水曜日19:00～です。
- お問合せ／NPO 法人コンカリーニョ〈担当：佐藤〉
ホームページの問い合わせフォームを使ったご連絡を受け付けています。
ホームページ <http://www.concarino.or.jp/> TEL: 011-615-4859

第3日

託児ボランティア募集

私たちの会には、障がいのある子どもの親（保護者）が参加して、時間を等分に分けて互いの話を聞きあっています。きちんと話を聞いてもらうことで、参加者は気持ちの整理がついたり、自分で解決方法を見つけたりし、元気になっていきます。そんな大切な時間を作るために、子どもたちと一緒に過ごしてくれるボランティアさんを募集しています。また、この会に関心をもたれた親御さんからのご連絡もお待ちしております。

- 日時／毎月第3日曜日14:00～17:00
- 場所／西区八軒の保育園
- 交通機関／JR「琴似駅」または「八軒駅」より徒歩10分。地下鉄東西線「二十四軒駅」より徒歩15分。
- その他／必要な方には、実費交通費をお支払いします。日時、場所を変更する場合があります。
- お問合せ／「障がいをもつ子どもの親」の聞きあう時間〈担当：柏崎〉 TEL: 011-642-5425
留守電の場合はお名前、電話番号を残してください。Eメール hironaga@jade.plala.or.jp 〈担当：廣永〉

12/3 締

高校生の学習サポーター募集

障がいのある方が学ぶ「オープンカレッジ」で、障がいのある受講生を1対1で支援する「高校生の学習サポーター」を募集します。授業内容は、体育（体力づくり）・家庭科（もちつき）・図工（クリスマスツリー作り）・語学（メッセージカード作り）です。受講生が大学に来てから帰るまで一緒に行動し、お手伝いしていただきます。大学生もサポートに入るので、分からないことや困ったことがあったら相談してくださいね。※授業内容は変更する場合があります。

- 日時／12月5日（日）9:30～16:00 ■場所／北海道医療大学（石狩郡当別町金沢1757）
 - 交通機関／JR 札幌駅から学園都市線で「北海道医療大学」下車すぐ。所要時間は札幌駅から44分。
 - その他／12月3日（金）までにお申し込みください。交通費・食事は支給します。
- お問合せ／学校法人東日本学園 北海道医療大学〈担当：山下〉
Eメール snw@hoku-iryo-u.ac.jp TEL・FAX: 0133-23-1263

第3土

子どもにパソコンを指導するボランティア

科学的なものづくりなどを行っている札幌西少年少女発明クラブでは、「子どもパソコンクラブ」を始める予定です。インターネットの操作方法から、「スクイーク（オープンソース・ソフトウェア）」を使用したゲームプログラミングの入門程度までを子どもたちに教える計画です。そこで、楽しく安全にインターネットやパソコンを子どもたちが操作できるように指導するボランティアを募集します。一番の条件は子どもを大好きなこと。また、スクイークに興味がある方や、パソコン操作が得意でゲームプログラミングの経験のある方、高校生や大学生も大歓迎です！簡単な面談があります。まずはお問い合わせください。

- 日時／第3土曜日午後（予定）
- 場所／中央区民センター「創造の部屋」（札幌市中央区南2条西10丁目）※部屋は変更になる場合あり。
- 交通機関／地下鉄東西線「西11丁目駅」〈3番出口〉より徒歩3分。市電「中央区役所前駅」下車徒歩2分。
- その他／交通費として上限400円までお支払いします。
- お問合せ／札幌西少年少女発明クラブ〈担当：金城〉
Eメール kunico_y@waltz.ocn.ne.jp TEL・FAX：011-211-8064
携帯：090-8569-8072 ホームページ <http://yume-codomo.jugem.jp/>

随時

除雪と運転ボランティア募集

札幌市南区やその近郊にお住まいのご高齢者の自立生活をお手伝いしようと、買い物や通院時に送迎をしたり、除雪をするサービスを行っています。現在、介助の必要な方が多く、ボランティアの人数が足りなくなってきました。少しの時間で結構ですからお手伝いしてもらえませんか。ご自身の車両を使用してもいいという方をお願いします。お気軽にお問い合わせください。

- 日時／空いている時間でかまいません。
- 場所／札幌市南区とその近郊
- お問合せ／ヘルパーステーションせせらぎ〈担当：小野寺〉 TEL：011-572-7810 FAX：011-572-7840
札幌市南区川沿4条3丁目4-9 フラワーハイム102号

随時

歌う高齢者のサポートボランティア募集

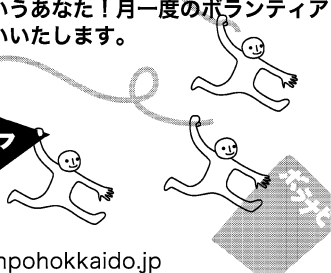
「うたネット向日葵（ひまわり）」は、病気で声が出づらくなったり、要介護で普段はなかなか外に出られない方も含め、高齢者がマイクを握る「ジョイントショー」を定期的で開催しています。これが参加者の「生きがい」になっていて、私たちは、人が尊厳をもって、よりよく生きるのに不可欠なものと考えています。この活動を支えてくれる、歌や一芸が得意な方、参加する高齢者のサポートをしてくださる方を募集します。

- 日時／2ヶ月に1度開催しており、直近の予定は、12月12日（日）12：00からです。
- 場所／カラオケ喫茶「スペースワイズ」（札幌市中央区南5条西3丁目 美松ビル5階）
- その他／軽食や飲み物代1,500円がかかります。
- お問合せ／うたネット向日葵〈担当：松平〉 携帯：090-8898-2029 FAX：011-782-4556

毎月20日前後に、月刊ボラナビの梱包、封入、配達などを手伝ってくれる方を募集しています。古新聞をひもで梱包するのが得意というあなた！月一度のボランティアにぜひご協力をお願いいたします。

**発送準備
ボランティア
募集**

お申込み
Eメール★volunavi@npohokkaido.jp
TEL★★011-242-2042



寄付をお待ちしております

月刊ボラナビの発行に充てるため寄付を受け付けております。

1万円以上の寄付者は裏表紙でお名前をご紹介します。

定額給付金の使い道の一つとしても、ぜひご検討ください。

NPO法人ボラナビ倶楽部



1/29
他

除雪ボランティア募集

菊水地区は独居高齢者や高齢者夫婦世帯が多い地域です。札幌市の福祉除雪サービスの適用とならない、またはそれに準じる世帯を対象にした除雪作業を行うため、ボランティアを募集します。屋根の雪下ろしや排雪などはいりません。当方でボランティア保険をかけます。2日間限りですが、どちらか1日でもかまいませんので、どうぞよろしくお願い申し上げます。参加される方は事前にご連絡をください。

- 日時／2011年1月29日(土)、2月19日(土) 10:00～12:00
- 集合場所／勤医協札幌病院内(札幌市白石区菊水4条1丁目9-22)
- お問合せ／介護予防センター菊水〈担当：福原・菊地・菅野〉
TEL: 011-820-1365 FAX: 011-820-1366



随時

ネットワーク作りに協力してくれるボランティア募集

札幌市市民活動サポートセンターを「縁」とした、活動団体(者)をつなぐネットワークを作ることになりました。とにかくつながり、活動の創造・充実を目指しませんか。将来は、他の公共施設を縁としたネットワークにつなげたいと思っています。そこで、連絡窓口を担当してくださる方や、ホームページの作成をお手伝いして下さる方を募集します。ぜひご協力ください!

- 日時／応募者と相談の上決定します。
- 場所／札幌市市民活動サポートセンター(札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ2階) 他
- 交通機関／地下鉄南北線「さっぽろ駅」、JR「札幌駅」北口直結
- お問合せ／「しみサポ活動団体(者)ネットワーク」準備会〈担当：宮本(北海道生涯教育総合研究センター)・秋田(NPO活動人)〉 TEL: 011-746-3665

金

デイサービスの見守りボランティア

円山溪仁会デイサービスでは、利用者さんを見守りながら、一緒にお話ししたり、昼食時のお茶の用意やコップ洗いをしてくださる「見守りボランティアさん」を募集しています。排泄や食事の介助はありません。毎週、活動していただける方をお願いします。年齢、性別不問です。関心をもたれた方は、気軽にお電話ください。

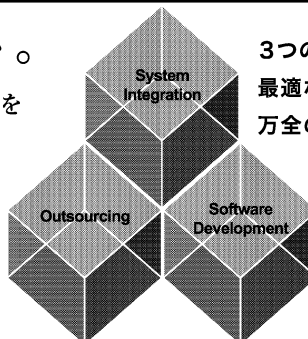
- 日時／金曜日 9:30～15:30(応相談)
- 場所／札幌市中央区大通西26丁目3番16号
- 交通機関／地下鉄東西線「円山公園駅」〈2番出口〉より徒歩2分。または、JRバス・中央バス「第一鳥居前」下車徒歩5分。
- その他／往復交通費として一律400円をお支払いします。
- お問合せ／社会福祉法人円山溪仁会デイサービス〈担当：河野・武内・加藤〉 TEL: 011-632-5500

ITで未来をクリエイト。

私たちHBAは、お客様とお客様の未来を先進のITで結ぶクリエイター

 **株式会社 HBA**

〒060-0004 札幌市中央区北4条西7丁目1番地8
TEL.011-231-8301 FAX.011-281-0915
<http://www.hba.co.jp/>



3つの事業をリレーション。

最適な情報システムの提案、構築、運用を万全のセキュリティで総合的に行います。

- システムインテグレーション
- アウトソーシング
- ソフトウェア開発

HBA Relation System

随時

カフェボランティアしませんか

札幌 YWCA は地域交流を目的としたカフェ「Y's Cafe (ワイズカフェ)」を全てボランティアによって 2004 年から運営しており、収益金は YWCA の青年活動や福祉活動に活用しています。安全な食材を用いて手作りのカレーやケーキを提供するほか、フェアトレード商品も扱っています。現在、ウェイトレスや調理補助、皿洗いなどの手伝いをしたり、週 1 回ケーキを焼いてくださる方を募集しています。留学生や大学生の就職前の準備として、または定年退職してボランティアを体験したい方や、主婦の経験を活かしたい方は、カフェの仕事をしてみませんか。

●日時／月～金曜日 11:30～19:00 (土曜日は 18:30 まで) の間で、2～3 時間お願いします。

●場所／Y's Cafe (札幌市北区北 7 条西 6 丁目 北海道クリスチャンセンター内)

●お問合せ・連絡先／札幌 YWCA <担当: 成田>

E メール sapporo@ywca.or.jp TEL・FAX: 011-728-8090

ブログ <http://yscafesapporo.jugem.jp/>

**12/27
～1/20**

冬休みに子どもと遊ぶボランティア大募集!

NPO 法人子どもサポートどろんこクラブでは、発達障がいなどのため集団活動が苦手な子どもたちがさまざまな体験をするサポートをしています。冬休みの活動は、スキー、スケート、ソリ滑りなどが中心です。ボランティアさんには、子どもたちに付き添って一緒に遊んでいただきます。知識、経験がなくても「子どもの笑顔が好き」という方であれば、すぐに仲良く活動できます。1 日だけの参加も可能です。ボランティアが初めての方もぜひ一度遊びにきてください。



●日時／12 月 27 日(月)～1 月 20 日(木) のうち、月～金曜日 9:10～15:30

●場所／集合と解散は、子どもサポートどろんこクラブ (札幌市北区北 16 条西 4 丁目 2-2)

●交通機関／地下鉄南北線「北 18 条駅」<2 番出口> より南に徒歩 3 分。

●その他／昼食 (お弁当、飲み物)、クラブからの移動費はこちらで負担します。

●お問合せ／NPO 法人子どもサポートどろんこクラブ <担当: 山田・小出>

E メール doronko_club@ivy.ocn.ne.jp

TEL: 011-737-3352 FAX: 011-398-8699

ホームページ <http://www.geocities.jp/doronko1904>

登録ヘルパー募集中

興味のある方

ぜひお気軽にご応募ください♪

随時

■資格／ホームヘルパー2級以上、未経験者大歓迎 35歳以上

夜間は年齢不問

運転免許必須 南区在住の方(周辺の方も応相談)

■勤務時間／応相談 昼間、深夜相談可

■給 与／時給930円(交通費400円。深夜手当などの諸手当あり)

■勤務場所／南区とその周辺

■応募方法／履歴書を当事業所まで郵送するか、右記までご連絡下さい。

NPO法人せせらぎ

ヘルパーステーションせせらぎ

〒005-0804

札幌市南区川治4条3丁目4-9 フラワーハイム102号

TEL: (011)572-7810 FAX: (011)572-7840

12/4
締

父子料理教室のサポートボランティアと参加者募集

料理を通じた福祉活動を行っている市民団体「RS ジンジャー」は、これまで、発達障がい児と親御さんを対象にした親子料理教室などを開催してきました。代表の高柳は調理師免許の他、ホームヘルパー、フードコーディネーター、ハーブコーディネーター、北海道フードマイスター、薬膳アドバイザー、食育指導士などの資格を有しており、現在「体に優しい料理」の習得を目指して老人介護施設の厨房で働く20代の男性です。この度、高校生までの子どもさんとそのお父さんを対象にした「父子料理教室」を始めることにしました。第1回目は「クリスマスに父子で、お母さんに作ろう! スペシャルディナー」です。当日お手伝いしてくださるボランティアを2人募集しますので、関心のある方はご連絡ください。なお、2回目以降も同じ曜日、同じ時間帯で開催する予定なので、継続して参加できそうな方を歓迎します。

- 日時／12月5日(日) 11:00～13:00
- 場所／札幌市中央区南19条西6丁目「ハローガス」2階調理室
- 交通機関／市電「山鼻19条」より徒歩1分。地下鉄南北線「幌平橋駅」より徒歩10分。
- その他／交通費実費として500円までお支払いします。12月4日(土)までにお申し込みください。また、参加する父子6組も募集しています。父子1組で参加費は1500円。エプロン・三角巾・ハンドタオルを持参していただきます。12月4日までにお申し込みください。
- お申込み・お問合せ／RS ジンジャー〈担当：高柳〉
Eメール r-takareo@softbank.ne.jp 携帯：090-7649-5804 ホームページ <http://ffoiuvre45.web.fc2.com/>

随時 パソコン操作などのボランティア

施設で暮らし、頸椎(けいつい)損傷のため両手足が動かせない60歳の男性のお手伝いをしてくださる方を募集します。パソコンや携帯電話の操作、その他どんなことでも結構です。30代ぐらいまでの方をお願いします(学生可)。どうぞよろしくをお願いします。

- 日時／応相談
- 場所／札幌市清田区北野(詳しい住所はお問い合わせいただいた際にお伝えします)。
- お問合せ／竹屋(世話人) 携帯：090-6449-8428

ぬくもりの
ケア

●ハンド・フットケア初心者用基礎講座教室

オイルを使って、温めた手で利用者の手足をさすり、なでてあげる優しい手技です。
※社会福祉施設に勤務する看護師を対象に講義経験有。平成21年度北海道社会福祉協議会主催。
日時／毎月第2・第4(土) 13:00～15:00 2時間/回(5回)
受講料／35,000円(教材・修了書代含む)

●ヘッドケア・肩ケア初心者用講座を開設します!

日時／毎月第1・第3(日) 13:00～15:00 2時間/回(4回)
受講料／32,000円(教材・修了書代含む)
会場／どちらの講座も札幌市中央区南2条西6丁目 狸小路プラザハウス2階

NPO 法人 日本ヒーリングケア協会・ヒーリングケアスクール札幌 代表：男沢(おざわ) 千恵子
TEL：090-2877-5876 FAX：011-824-3844 ホームページ <http://www.healing-care.jp>

ボラナビ倶楽部の会員になりませんか?

社会を
変えたい人

一緒に
ボラナビを
育ててみたい人

市民活動や
ボランティアに
興味がある人

ボラナビに
情報・広告を
載せたい人

ボラナビ
大好きな人

- 年額／個人5千円、法人1万円。
- 特典／月刊ボラナビが毎月自宅に送られてくる。ボラナビカフェに無料で参加できる(月1回)。法人会員は、有料広告枠を1割引で利用できるなど。ぜひお申し込みください。

■お申込み・詳細／ホームページで検索

※会員期間は、2010年4月～2011年3月です。

NPO 法人ボラナビ倶楽部 ● volunavi@npohokkaido.jp ● TEL 011-242-2042

随時

焼尻島でアザラシの生態調査をしませんか

私は、アザラシによる漁業被害が本当に深刻化しているか疑問に思い、2003年から道北の焼尻（やぎしり）島で調査をしています。数日間でも島に来られる方は、アザラシの頭数を数えるこのボランティア活動に参加してみませんか？お待ちしております。

- 日時／調査は毎日行っています。時間はご都合に合わせます。
- 場所／焼尻島
- その他／この度、活動に関する説明会を12月5日（日）13：00から道立市民活動促進センター（札幌市中央区北3条西7丁目 道庁別館西棟1階）で開催しますので、興味のある方は事前にご連絡ください。
- お問合せ／焼尻ごまちゃんクラブ〈担当：河野〉 Eメール gomafu-hungskangee72@ezweb.ne.jp

月～土

小学生の学童保育ボランティア募集

小学生の学童保育を行なっています。子どもたちには安全に健やかに過ごし、また、様々な体験をしてもらいたいと考えています。そこで、子どもたちと一緒に遊んだり、読み聞かせをしたり、書道やそろばんなどを子どもたちに教え、サポートして下さる方を募集しています。子育てを終えた方や、子どもと関わりを持ちたいと思われる方、サークルで、または講師として様々な趣味活動をされている方に、ご都合のつく日だけでも継続して関わっていただくと嬉しいです。保育関係の就職を目指す学生さんも大歓迎です（専門学校や大学生の実習・保育体験も受け入れていますので、希望する方は事前にご連絡ください）。

- 日時／月～金曜日は14：00～17：00、土曜日や長期休みは9：00～17：00。
- 場所／学童保育所 SMK（札幌市北区屯田6条9丁目5-26）
- 交通機関／中央バス「屯田7条9丁目」停留所下車徒歩3分。駐車場はありません。
- その他／活動の内容によっては、謝礼をお支払いすることがあります。また、当会では各種行事を予定しており、それらに引率者として参加していただく場合の交通費や入場料などはボランティアの方にご負担いただきます。
- お問合せ／学童保育所 SMK〈担当：佐藤〉 Eメール sapporomischievouskids@live.jp TEL・FAX：011-776-1089 携帯：080-5586-1089 ホームページ <http://homepage3.nifty.com/smk>



平成22年度
NGO相談員

北海道のNPO・NGOの 相談業務承ります！

（財）北海道国際交流センター（HIF）は道南を中心にホームステイ、国際交流や地球環境、NPO・NGOサポートなどの活動をしている団体です。2010年度の外務省NGO相談員です。北海道全域の相談業務に対応するため、HIF札幌デスクを開設しています。よりきめ細かい相談や出張サービス（いずれも無料）を承ります。

詳しくは、
札幌デスク NPO法人ボラナビ倶楽部 または
（財）北海道国際交流センター（HIF）
までお問い合わせください。
TEL：0138-22-0770 FAX：0138-22-0660
Eメール info@hif.or.jp
ホームページ <http://www.hif.or.jp>



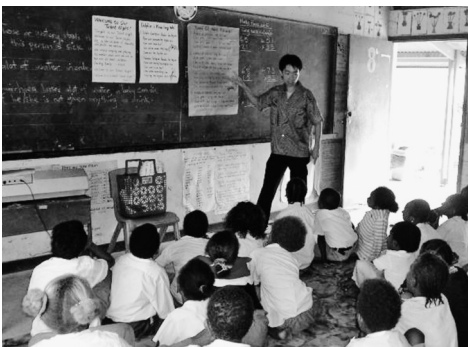
OB・OG 青年海外協力隊

「海外でボランティアをする」—— 夢見たことはあるけれど、実現していない人は多いのではないのでしょうか。もしかしたらあなたが行くかも、あるいは行ったかもしれないその土地の様子を、青年海外協力隊 OB・OG の方々に教えていただきます。

第44回

泣いた！ 笑った！ バヌアツの人々と・・・

桐井崇匡（きりい たかまさ）さん（29 歳）2008 年 6 月より 2 年間、バヌアツ共和国の小学校で音楽教諭として教鞭をとる。現地の教員向けに、音楽指導法や楽典（楽譜の読み書きに必要な音符や記号などの規則）の勉強会を行った。



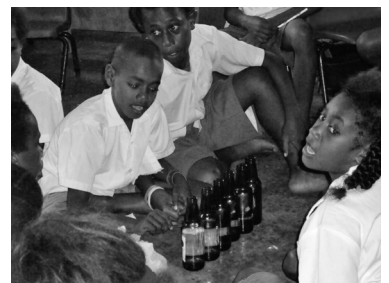
新しい歌を指導する筆者

協力隊への参加が決まり、「バヌアツに行く」と友人に言うと、「どこ？ アフリカ？」と聞かれました。私自身も、それまで知らなかった国でした。

バヌアツは南太平洋に浮かぶ島国で、人口は約 24 万人、言葉は国内に 100 種類以上あります。違う地方の人同士が話す際にはビスラマ語を使います。日本でいえば、各地の方言に対する標準語のようなものでしょうか。気候は、12 月頃が真夏で雨が多く、気温は 30 度前後、6 月頃が冬ですが、それでも 24 度前後なので、最初は湿気と暑さに参りました。根っから「どさんこ」の私ですから、なおさらです。でも 2 年住むと、20 度台前半の気温でも寒く感じました。人間の体って、住んでみるとその場に慣れるものですね。

私の仕事は、首都ポートビラ市のピラノース小学校で子どもたちに音楽を教えることと、現地の教員が音楽の授業を続けていけるようにサポートすることでした。音楽は、教科としてカリキュラムに組み込まれているものの、教員の指導技術不足や自信がないために、なかなか実施されなかったり、歌を数分歌うだけに終始したりしているのが実態でした。私は 800 人程の子どもがいるマンモス校で、幼稚園から 6 年生までの 16 クラスに携わりました。途上国だから、子ども全員が目をは輝かせて授業に参加するようなイメージがありましたが、意外にも、私の配属先は教育困難校で、騒がしさで授業の成り立たないクラスもありました。日々説教の連続で、ひどいときは、説教だけで 1 時間の授業が終わってしまう日もありました。現地の教員は基本的には熱心ですが、残念ながら、子どもを放置したまま職員室にいたり、仕事と言って街に出たまま帰らなかったりする人もいました。

私は、「まずは私のやり方を見て欲しい。教室にいて欲しい」と全担任にお願いするところから始め、その中で、現地の教員が教える割合を増やしていく方法をとりました。また、不要な瓶に異なる量の水を入れて音階を作ったボトルキーボードを紹介し、楽器指導に自信のない先生でも簡単に音楽を教えられる手段を提案しました。幸い、私の帰国直前には「いま子どもに瓶を集めさせてボトルキーボードをつくっている」、「次の音楽祭で練習させてみる」といった声が担任からあがり、2 年間やってきてよかったと心から感じました。



歌いながらボトルキーボードを演奏する子どもたち

豆知識

ポートビラ市内を走る相乗りバスの料金は 140 円程度。遠回りされることもあるが、距離に関わらず同一料金で乗ることができる。



▼応募相談・活動などボランティアに関するお問い合わせは――

独立行政法人 国際協力機構 札幌国際センター (JICA 札幌)

〒003-0026 札幌市白石区本通 16 丁目南 4 番 25 号 TEL: 011-866-8393 E メール sictpp@jica.go.jp



誰でも気軽に立ち寄っておしゃべりができる「地域のお茶の間」は、集まった人たちとおしゃべりをしたり、ゲームや料理などをしながら、一緒に楽しい時間を過ごすことができるスペースです。

ホームページで札幌市内を中心に、300ヶ所を紹介中!

お茶の間めぐり

検索

このコーナーは、赤い羽根共同募金の支援を受けています。

Vol.39

おしゃべりとおひるの会

- 場 所** 手稲区曙地区個人宅
- 日 時** 毎月第2・4月曜日 10:30~14:30。当日が祝日でも開催。
- 参加費** 300円
- 参加対象** 高齢者。事前にご連絡ください。
- 連絡先** 手稲区社会福祉協議会 TEL: 011-681-2400



き っ か け

発起人の下村は、雪かきが大変になった実母を隣家に越させましたが、近隣に友人がいなくて寂しげな母親の様子に、心を痛めていました。また、同居する義母も認知症が進み、出歩けなくなっていました。そんな時、自宅を「老人憩いの家」として開放している主婦の話を見て、心から離れなくなりました。まず母が元気になって、地域のお年寄り仲間になることを思い描き、「介護をしながらできる、高齢者の生きがい対策」と考え、同じく親の面倒を見ている友人2人の協力を得て、高齢者のいる近所の家にチラシを配って参加を呼びかけ、1990年に会を始めました。



メ ッ セ ー ジ

参加者は60~80代が中心です。家庭的な雰囲気の中で、様々な話題で本音でおしゃべりをし、みんなで作った昼食をいただいています。20年続けているので、片意地を張らずにみんなが自然体でいられますし、お友達が増えたことで、開催日以外にもお話できる機会が増えました。参加者からは、「多くの方々と交流できるし、介護などの情報が得られる。みんなと共に食事をする楽しみは何にも代えがたく、毎回とても楽しみにしている」(独居高齢者75歳女性)などの言葉をいただいています。温泉旅行などの行事を企画することもあり、その時にはさらに多くの人々が参加しています。



ボラナビカフェを
毎月開催しています。



12月 6日(月)、11日(土)、18日(土)
20日(月)、25日(土)
1月 8日(土)、15日(土)、18日(火)
22日(土)、28日(金)

時間は10:00~11:30、12月25日(土)のみ
13:30~15:00

参加費無料の日や、無料の託児付きの日があります。
詳細は3・4ページをご覧ください。

10月の

事務局の1ヶ月を
振り返りつつご紹介



- 3(日) ●イオン発寒店と苗穂店にある市民団体のラックに月刊ボラナビを配置しに行った。
- 4(月) ●札幌市の会議に代表の森田が出席。地下鉄SAPICAカードを活用した、ボランティア活動促進のための計画について話し合った。
- 6(水) ●11月号の校正にボラボラさん(ボラナビ倶楽部のボランティア)がきてくれた。
- 8(金) ●某市の社会福祉協議会の方から、16mmフィルムを扱える団体について問い合わせがあった。映画に関する市民団体を紹介した。
- 9(土) ●北海道選出の国会議員と道議会議員、NPO関係者との会議に森田が出席。ボランティアニーズをマッチングする仕組みの必要性について話した。
- 12(火) ●ボラボラさんがコピー用紙などを寄贈してくれた。
- 13(水) ●今日も、校正にボラボラさんが来てくれた。しっかりチェックしてもらえて安心。

- 18(月) ●寄付してくれた方にお礼を伝え、話が弾んだ。
- 19(火) ●ボラナビ倶楽部が使っているオンライン決済システムのペイパル (paypal) の登録の仕方について問い合わせがあった。登録したのは1年以上前なので、改めて資料を調べてお答えした。
- 23(土) ●ボラナビカフェを開催。この回から、レポートを書くのはスタッフ2人に増やした。同じ会話に加わっていても、話しの受け止め方の違いなどがレポートに表れて、面白くなりそう。
- 25(月) ●今日は、ボラナビへの問い合わせがいつもより多く感じた。11月号の発行日で、一部地域では新聞折り込みで配られたことや、12月号に掲載する情報の受付締切日だったからのようだ。
- 26(火) ●ボラナビに掲載した団体の方から、寄付をしてくださったとの連絡を受けた。ありがとうございます。以前のボラナビには「一口500円から寄付を受け付けている」と書いていたが、今は書かれていないことについて聞かれた。1万円以上の寄付者の名前を掲載しているため、それ未満の寄付は受けていないと思われたようだ。今はスペースの都合で書いていませんが、金額にかかわらず寄付はありがたく受けています。

ボラナビ倶楽部は12/29(水)から1/6(木)までお休みします。

月刊ボラナビの配置先 (今月は札幌市清田区をご紹介) ボラナビは毎月25日に約1,000ヶ所に配置しています。

●札幌市 ■清田区/札幌国際大学/イオン札幌平岡ショッピングセンター店/コープさっぽろルミネ平岡店/札幌東光ストア(真栄店・平岡店)/北雄ラッキー(美しが丘店・北野店・清田店)/ラルズストア(北野店・里塚店)/マックスバリュ北野店/文教堂(北野店・真栄店)/札幌日産自動車(里塚支店)/Honda Cars 南札幌羊ヶ丘店/清田区社会福祉協議会/清田区図書館/清田区民センター/清田区役所/まちづくりセンター(北野・清田中央・平岡・清田・里塚・美しが丘)/白旗山競技場/清田区体育館/温水プール/札幌信用金庫(清田支店・平岡支店)/北海道銀行(清田支店・美しが丘出張所)/中和石油(株) FW 美しが丘/北海道エネルギー(SS平岡通・清田・清南・コンフォート真栄・セルフ平岡梅林公園・里塚)/札幌河辺石油 JOMO 大曲ステーション/びっくりドンキー清田店/地域生活きたのセンターばお/ニトリ平岡店

その他の配置先は、ボラナビホームページをご覧ください。

※配置にご協力いただいている皆さま、ありがとうございます。札幌市内の小中学校と北海道内の社会福祉協議会に配付しています。

遊佐新聞販売株式会社様、有限会社北海道新聞中田専売所様のご協力で、札幌市の一部地域で北海道新聞に折り込み配布をしています。一部地域では、ポスティングをしています。



ボラナビに情報を掲載した方からのご意見、ご感想を紹介するコーナーです。

▼応募者は高校生〜40代と幅広く、ボラナビが多くの人に読まれていると分かった。

▼掲載文は盛りだくさんで散漫になっちゃったが、こつこつ会があると記憶にとどめてくれた方がいると思う。

▼リハースルでできなかったが、皆さん上手に手伝ってくれた。

▼障がい理解のあるボランティアさんがきてくれた。

ボラナビ倶楽部を支援してくださった方々 (ハヒフ順)

匿名希望者様

森田雄二様

進藤芳彦様

北雄ラッキー株式会社様

遊佐新聞販売株式会社様

鈴木千鶴子様

北海道銀行様

株式会社 HBA 様

株式会社土屋ホーム様

北海道新聞社様

札幌信用金庫様

寺岡ファシリティーズ株式会社様

有限会社北海道新聞中田専売所様

札幌通運労働組合様

中道リース株式会社様

北海道文化放送様

城宝和茂様

株式会社ニトリホールディングス様

寄付金について

月刊ボラナビの発行は、企業や個人の方々からの寄付金でまかなわれています。10,000 円以上の寄付金や、この欄への 10,500 円の寄付広告をいただいた際は、誌面でお名前をご紹介します。また、札幌市のさぽーとぽつと基金を利用してボラナビに寄付をすると、個人なら所得税及び住民税の寄付金税額控除、法人なら全額損金算入が可能です。☎札幌市市民まちづくり局 TEL: 011-211-2964 メール shimin-support@city.sapporo.jp

■情報掲載料金 (各 1 号につき)

種 類	サイズ (天地×左右)	料 金
S サイズ (企業・行政)	50 mm × 76 mm	31,500 円
M サイズ (企業・行政)	50 mm × 157 mm	63,000 円
M サイズ (NPO・NGO)	50 mm × 157 mm	5,250 円
L サイズ (NPO・NGO)	100 mm × 157 mm	10,500 円
無料掲載 (NPO・NGO)	サイズの希望は受けられません。 また、誌面の都合により掲載できなくなる場合があります。	無 料
裏 表 紙	50 mm × 157 mm	105,000 円
バナー広告	60 ピクセル × 120 ピクセル	52,500 円 (1,750 円/日)

※前払いでお願いいたします。

※「製作済みの版下」または「テキスト (あれば写真やイラストも)」をご提出ください。
企業・行政の広告はデザイン性のあるものにしていただきたいと思いますので、版下の提出が難しい場合は、ボラナビ倶楽部が適切なデザインを別料金で制作いたします。(M=6,300 円、S=4,200 円、バナー広告=6,300 円)。NPO・NGO 広告もデザイン性を持たせることは可能です (L=8,400 円)。

※ボラナビ倶楽部のホームページ (ボラナビ・サーチ) への情報掲載は無料です。ただし、企業・行政でお申し込みの際は、協賛・寄付をご検討ください。
みなさまのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。(2010 年 7 月改定)

■定期購読のご案内

●各号 1 部 (6 ケ月間)…………… 1,575 円

複数部を希望される場合は、ボラナビ倶楽部までお問い合わせください。

●お申し込み方法 定期購読ご希望の方は、ボラナビ倶楽部までご連絡ください。

定期購読のお申し込みをされる場合は、寄付または寄付広告をご検討ください。
詳細は上記の「寄付金について」をご覧ください。

ボラナビ倶楽部への
お振り込みは

■ゆうちょ銀行 (郵便振替)

02700-1-5671

■北洋銀行北七条支店

(普) 3662056

■北海道銀行札幌駅北口支店

(普) 0816050

■北海道労働金庫道庁支店

(普) 3153060

■札幌信用金庫本店

(普) 4255071

●口座名: ボラナビ倶楽部

※北海道労働金庫の窓口でお振り込みの際は、手数料はかかりません。

■クレジットカードによる支払いも可能です。詳細はボラナビのホームページでご確認ください。

■ボラナビモバイル



QR コード対応携帯のみ

ボラナビ・コールサービススタート!

市民団体などに代わってボラナビ倶楽部が窓口となるサービスを今年度から試験的に始めています。利用される方はボランティア募集情報をボラナビなどに掲載する際、連絡先としてボラナビ倶楽部の電話、FAX、メールアドレスを告知していただくことが可能です。「専門の事務局員を置くことができない」、「ボラナビに掲載したいけど公開できる連絡先が無い」という市民団体の声を受けて企画しました。ぜひご利用ください。

■代理業務内容・・・平日9:00~15:00にかかってきた電話の対応と、それ以外の時間に受け付けた留守電・FAX・メールなどのご連絡内容を転送します。※複雑な問い合わせが想定されるケースなどはお引き受けできないことがあります。

■料金・・・2,100 円 (税込/前払)。月刊ボラナビ発行日 25 日~翌月末日の約ひと月間。

■お問合せ・・・NPO 法人ボラナビ倶楽部/Eメール volunavi@npohokkaido.jp/TEL 011-242-2042/FAX 011-242-2043